

令和4年度（2022年）

年報

山口県文書館

目 次

I 概要

1 沿革	2
(1) 設立	2
(2) 年表	2
2 組織	11
3 決算	11
4 施設	11

II 令和4年度業務報告

1 4年度概観	12
2 収蔵状況	13
3 調査	14
4 収集	14
(1) 諸家文書	14
(2) 行政文書	14
(3) 行政資料	14
(4) 図書雑誌	14
(5) その他（特設文庫）	14
5 整理	15
(1) 藩政文書	15
(2) 諸家文書	15
(3) 行政文書	15
(4) 行政資料	15
(5) 図書雑誌	15
(6) その他（特設文庫）	15
6 保存対策	16
(1) 修理（行政文書）	16
(2) 資料燻蒸	16
7 利用	16
(1) 文書館利用状況	16
(2) ホームページ利用者数	16
(3) 調査室（閲覧室）利用者数	16
(4) 閲覧者数の状況	16
(5) 閲覧文書点数の状況	17
(6) 特別利用の状況	17
(7) 貸出	17
8 刊行物	18
令和4年度の刊行物	18

9 地方調査員	18
(1) 地方調査員会議	18
(2) 地方調査員の文書調査報告実績	18
(3) 地方調査員名簿	18
10 広報・普及	18
(1) 広報活動	18
(2) 第17回中国四国地区アーカイブズウィーク	18
(3) 資料小展示	19
(4) 古文書入門講座	19
(5) 古文書基礎講座	19
(6) 古文書錬成講座	19
(7) 古文書発展講座	20
(8) オンライン古文書読み合わせ会	20
(9) 文書館活用講座	20
(10) 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議	20
(11) オンライン歴史講座	20
(12) ウェブサイト	21
11 研究活動	22
(1) 研究実績	22
(2) 講演・研究会等	22

III 令和5年度の計画

1 業務	23
(1) 保存対策	23
(2) 刊行物	23
(3) 普及活動	23
(4) 山口県公文書管理委員会事務局	23
2 職員	24
3 地方調査員	24
4 当初予算	24

I 概要

1 沿革

(1) 設立

当館は、昭和34年4月に日本で初めての公立文書館として発足した。設立には、次の要因があった。

- ① 昭和27年に旧萩藩主毛利家から藩政に関する「毛利家文庫」約5万点の史料が県に寄託され、同文庫の保存と公開の措置をとる必要があった。
- ② 昭和12年に設けられた県史編纂所（終戦時に閉鎖）において収集・謄写した史料3千点の保存と利用を望む声があった。
- ③ 県立山口図書館は、明治36年の開館以来、郷土資料室の充実につとめて多くの原文書を収蔵しており、その効率的な利用が望まれていた。
- ④ 県立山口図書館郷土資料室には、県政発足以来の行政文書も収蔵されており、今後の継続的な行政文書の収集・保存・活用を図る必要があった。

これらの要望を充たす施設として、文書館の設立構想が立てられた。さらに山口県地方史学会による設立運動も行われ、昭和34年「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく県条例によって設置された。

(2) 年表

昭和34年度 (1959)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
34.4.1	山口県文書館設置条例により県教育委員会の一組織として設立される	
10.1	専任職員が配置される	
12.18	書庫増築工事竣工（山口図書館）、引継文書の移管作業を開始	
昭和35年度 (1960)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
35.4.1	閲覧業務を開始する	
8.1	三浦家文書受託	
11.30	「防長風土注進案12 山口宰判上」刊行	
36.3.10	「防長風土注進案16 吉田宰判」刊行	
昭和36年度 (1961)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
36.5.16	田中義一文書受託	
6.15	「山口県文書館概要」刊行	
6.15	「防長風土注進案1 大島宰判上」刊行	
8.31	「防長風土注進案15 舟木宰判」刊行	
10.30	山口県政発足九十年記念「明治初期県政史料展」開催	
11.10	「防長風土注進案13 山口宰判下」刊行	
12.10	「防長風土注進案2 大島宰判下」刊行	
37.1.31	「防長風土注進案17 美祢宰判」刊行	
3.30	「萩藩四冊御書附」刊行	
昭和37年度 (1962)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
37.4.20	「防長風土注進案3 奥山代宰判」刊行	
6.30	「防長風土注進案4 前山代宰判」刊行	
8.8	徳山毛利家文庫受託	
9.20	「防長風土注進案19 前大津宰判」刊行	
11.5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料展」開催（～11.9）	
11.5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料解説目録」刊行	
12.10	「防長風土注進案5 上関宰判上」刊行	
12.14	県庁行政文書年末収集開始	

38. 2.10	「防長風土注進案 18 先大津宰判」刊行
3.30	「山口県文書館史料目録 1」刊行
昭和38年度 (1963)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
38. 4. 1	県行政文書の移管を開始（「山口県文書取扱規程」に基づく）
6.30	「防長風土注進案 6 上関宰判下」刊行
8.31	「防長風土注進案 7 熊毛宰判」刊行
10.25	国体開催記念展「目で見る山口県の歴史」を開催（～11.3）
10.25	「目で見る山口県の歴史」刊行
12. 19	山内家文書受託
39. 1.31	「防長風土注進案 20 当島宰判」刊行
3.10	「防長風土注進案 8 都濃宰判」刊行
3.26	山口県文書館条例が公布される（施行 39.4.1）
3.26	山口県文書館規則が改正される（施行 39.4.1）
3.31	山口県文書館設置条例が廃止される
昭和39年度 (1964)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>—7.5—木原立美<図書館長兼務>)
39. 5.31	「防長風土注進案 9 三田尻宰判上」刊行
7.20	「防長風土注進案 11 徳地宰判」刊行
9.20	「防長風土注進案 21 奥阿武宰判」刊行
10.17	近世交通史料展開催（～10.18）
12.10	「防長風土注進案 14 小郡宰判」刊行
40. 3.10	「防長風土注進案 10 三田尻宰判下」刊行
3.30	「山口県文書館史料目録 2」刊行
昭和40年度 (1965)	(館長 木原立美<図書館長兼務>)
40.6.1	山口県文書館規則一部改正
6.29	県教育委員会行政文書の移管を開始（「山口県教育委員会事務局文書取扱規程」の改正に基づく）
9.20	「文書館ニュース 1 号」刊行（以後年刊）
11.10	「豊浦藩村浦明細書」刊行
11.10	「文書館案内」刊行（以後不定期刊行）
41.3.30	「防長風土注進案研究要覧」刊行
昭和41年度 (1966)	(館長 兼清正徳)
41. 4. 1	山口県政史の編纂事業開始
5.10	廨に指定される
10.25	大村益次郎文書受託
11. 3	「防長風土注進案」の編集スタッフ、西日本文化賞を受賞
42. 3.30	「萩藩閥閥録 第 1 巻」刊行
昭和42年度 (1967)	(館長 兼清正徳)
43. 3.30	「萩藩閥閥録 第 2 巻」刊行
昭和43年度 (1968)	(館長 兼清正徳)
43. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員の職名が専門員となる
昭和44年度 (1969)	(館長 兼清正徳)
44. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員に研究職が適用される（職名は研究員・専門研究員）
45. 3.30	「萩藩閥閥録 第 3 巻」刊行
昭和45年度 (1970)	(館長 兼清正徳)
45. 4. 7	日本育英会法施行令の規定による研究所施設に指定される
46. 3.25	「山口県政史上・下」2巻刊行

3.30	「萩藩閥閥録 第4巻」刊行	
3.30	「萩藩閥閥録遺漏」刊行	
昭和46年度 (1971)		(館長 兼清正徳)
46.6.7	文部省史料館主催「近世史料担当職員講習会(西日本地区)」の会場となる	
7.1	地方調査員制度を発足させる	
47.3.1	「山口県文書館研究紀要 第1号」刊行(以後年刊)	
昭和47年度 (1972)		(館長 松村茂)
47.10.30	「山口県文書館史料目録3」刊行	
48.3.20	「山口県史料古代編」刊行	
昭和48年度 (1973)		(館長 松村茂)
48.7.23	新館舎が完成し、現在地に移転する	
7.23	新築移転記念「山口県文書館史料展」開催(～8.18)	
49.3.1	「山口県内所在史料目録 第1集」刊行(以後年刊)	
昭和49年度 (1974)		(館長 松村茂)
49.5.20	「山口県文書館史料目録4」刊行	
50.1.1	成人大学古文書解読講座に協力(以後平成11年度まで)	
昭和50年度 (1975)		(館長 田村武文)
51.1.20	「山口県史料近世編 法制上」刊行	
2.24	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(通称全史料協)の創立大会を開催	
昭和51年度 (1976)		(館長 田村武文)
52.1.10	「山口県史料近世編 法制下」刊行	
2.24	古文書・行政文書取扱者講習会(第1回)を開催	
昭和52年度 (1977)		(館長 田村武文)
53.2.22	古文書・行政文書取扱者講習会(第2回)を開催	
3.30	「山口県文書館史料目録5」刊行	
昭和53年度 (1978)		(館長 田村武文)
54.3.20	「山口県史料中世編 上」刊行	
3.20	「山口県行政文書仮目録戦前の部」刊行	
昭和54年度 (1979)		(館長 木梨亮一)
54.4.～11.	「萩藩閥閥録第1・2・3・4巻・遺漏」再版刊行	
5.～3.0	山口県古文書等所在確認緊急調査を実施	
10.17	全国都道府県史協議会を開催(～10.18)	
昭和55年度 (1980)		(館長 高佐原茂郷)
55.6.17	有光家文書受贈	
昭和56年度 (1981)		(館長 平田豊彦)
57.2.20	「防長寺社由来 第1巻」刊行	
昭和57年度 (1982)		(館長 松本隆馬)
57.10.20	「防長寺社由来 第2巻」刊行	
58.2.20	「防長寺社由来 第3巻」刊行	
3月	「防長風土注進案と同和問題」刊行	
昭和58年度 (1983)		(館長 山下義雄)
58.11.1	古文書解読(基礎)講座を開催(以後平成17年度まで)	
12.26	「防長寺社由来 第4巻」刊行	
59.2.20	「防長寺社由来 第5巻」刊行	
3.31	「両公伝史料仮目録」刊行	

昭和59年度 (1984)		(館長 山下義雄)
59. 6.12	県庁舎竣工記念展「目でみる萩から江戸へ」開催 (13日間)	
60. 1.16	「防長寺社由来 第6巻」刊行	
3.26	山口県文書館条例改正 (施行 60.4.1)	
3.26	山口県文書館規則改正 (施行 60.4.1)	
3.30	「県庁伝来旧藩記録等仮目録」刊行	
昭和60年度 (1985)		(館長 宮本幹雄)
60. 4. 1	副館長が置かれる (山口県教育委員会行政組織規則改正 60.3.29)	
10.29	有光家文書が県指定有形文化財に指定される	
61. 2.10	「防長寺社由来 第7巻」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅰ」刊行	
昭和61年度 (1986)		(館長 宮本幹雄)
61.10.15	「萩藩閥閥録 第1巻」三版刊行	
62. 1.10	「萩藩閥閥録 第2巻」三版刊行	
1.30	「府県史料 山口県 1」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅱ」刊行	
昭和62年度 (1987)		(館長 宮本幹雄)
62. 6.30	「萩藩閥閥録 第3巻」三版刊行	
11.11	「萩藩閥閥録 第4巻」三版刊行	
63. 1.14	「府県史料 山口県 2」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅲ」刊行	
昭和63年度 (1988)		(館長 斎藤 博)
63. 7.11	「萩藩閥閥録遺漏」三版刊行	
11.30	「府県史料 山口県 3」刊行	
64. 1. 2	「萩藩閥閥録 別巻」刊行	
3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅰ」刊行	
3.30	「山口県文書館要覧」刊行	
3.30	「年報」刊行 (以後年刊)	
平成元年度 (1989)		(館長 那須 敬)
元. 9.16	開館30周年記念展示会「むら・まち・うら」開催 (~10.15)	
10.10	開館30周年記念「絵図でみる防長の町と村」刊行	
11.30	「府県史料 山口県 4」刊行	
12. 3	開館30周年記念司馬遼太郎講演会「歴史の中の防長二州」開催	
2. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅱ」刊行	
3.30	開館30周年記念「山口県文書館の30年」刊行	
平成2年度 (1990)		(館長 那須 敬)
2. 4.11	皇太子浩宮殿下山口県中世史研究のため来館	
11.30	「府県史料 山口県 5」刊行	
3. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅲ」刊行	
平成3年度 (1991)		(館長 那須 敬)
3.11.30	「府県史料 山口県 6」刊行	
4. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅳ」刊行	
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 1940年代-1950年代」刊行	
平成4年度 (1992)		(館長 松永精一郎)
4. 5. 0	古文書専修講座を毎月開催 (以後毎年)	
6.22	有光家文書が国指定重要文化財 (古文書) に指定される	

8.13	古文書活用講座を開催（～8.19、以後毎年）
5.3.31	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅴ」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1940年代完結簿冊文書」刊行
平成5年度（1993）	（館長 松永精一郎）
6.3.31	「山口県文書館諸家文書目録1 柳井市金屋小田家文書第1分冊」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録2 リーフレット・ポスター1940年代～1960年代」刊行
平成6年度（1994）	（館長 山本 直）
7.3.31	「山口県文書館諸家文書目録2 柳井市金屋小田家文書第2分冊」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1930年代完結簿冊文書」刊行
平成7年度（1995）	（館長 山本 直）
8.3.29	「山口県文書館諸家文書目録3」刊行
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録3 地図 1950年代まで」刊行
平成8年度（1996）	（館長 宮本典彦）
8.6.25	山口県文書館整備構想検討会を開催（以後8.23、9.12、10.15の計4回開催）
11.20	山口県文書館整備構想検討会報告書作成
9.3.31	「山口県文書館諸家文書目録4」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1910・20年代完結簿冊文書」刊行
平成9年度（1997）	（館長 宮本典彦）
9.2.1	企画小展示「毛利元就関係文書」開催（～12月、毎月展示替え）
4.30	「大内版妙法蓮華経板木」が県指定有形文化財に指定される
10.2.1	文書館利用規程を改正
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録4 1960年代第1分冊」刊行
3.31	「山口県文書館諸家文書目録5 佐藤家文書」刊行
平成10年度（1998）	（館長 宮本典彦）
10.4.21	古文書入門講座を毎月開催（以後毎年）
6.30	「大内版法華経板木」59枚が国指定重要文化財（歴史資料）に指定される
11.1.21	第1回文書館ウィーク開催（～1.27）
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録5 1960年代第2分冊」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊1 公儀事諸控総目次Ⅰ」刊行
平成11年度（1999）	（館長 宮本典彦）
11.4.1	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会研修研究委員会事務局を引受け
12.1.20	第2回文書館ウィーク開催（～1.27）
3.23	山口県文書館規則第3条第1項改正（但書削除、土曜日全日開館）
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録6 1960年代第3分冊」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊2 公儀事諸控総目次Ⅱ」刊行
平成12年度（2000）	（館長 青木正典）
12.4.1	土曜日全日開館（9:00～17:00）を開始
13.1.18	第3回文書館ウィーク開催（～1.24）
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録 1900年代以前完結簿冊文書」刊行
平成13年度（2001）	（館長 青木正典）
14.1.18	第1回文書館デイズ開催（～1.20）
3.29	「山口県文書館諸家文書目録6 上関町吉田家文書」刊行
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録7 1960年代第4分冊」刊行
平成14年度（2002）	（館長 青木正典）
14.4.1	文書館資料保存修復事業・館藏品情報発信事業に着手（緊急雇用創出事業）

12.20	「山口県文書館特設文庫目録1 新聞文庫目録(近代)」刊行
15.1.17	第2回文書館デイズ開催(～1.19)
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録8 1940年代以前」刊行
3.31	山口県文書館ホームページ更新(文書館・博物館・美術館情報発信事業)
平成15年度(2003) (館長 村松優一)	
15.4.1	文書館収集資料整理事業に着手(緊急雇用創出事業、～16年度)
16.1.23	第3回文書館デイズ開催(～1.25)
2.10	「山口県文書館特設文庫目録2 雑誌文庫目録(近代)」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊3 諸事小々控総目次I」刊行
3.31	ホームページに画像データベース(毛利家文庫絵図・写真・袋入絵図・ポスター・リーフレット)を追加
平成16年度(2004) (館長 村松優一)	
16.10.27	第30回全史料協全国大会及び研修会を山口県総合保健会館で開催(～10.29)
10.29	山口県教育委員会事務局等公文書取扱規定の一部改正(11.1施行)
17.1.21	第4回文書館デイズ開催(～1.23)
3.31	「山口県文書館諸家文書目録7 上関町国行家・佐倉谷家・吉崎家文書」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録9 地図 1960年代」刊行
平成17年度(2005) (館長 木原 宏)	
17.6.9	山口県行政文書(県庁文書12,597点、郡役所文書952点)が国指定重要文化財(歴史資料)に指定される
6.10	第5回文書館デイズ開催(～6.12)
18.1.20	第1回「山口お宝展」(重要文化財「大内版法華経板木」を展示)開催(～2.12)
2.28	「毛利家文庫目録別冊4 諸事小々控総目次II」刊行
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録5 一郡役所文書」刊行
平成18年度(2006) (館長 木原 宏)	
18.6.1	第1回中国四国地区アーカイブズウィーク「山口県文書館史料刊行事業展」・「備後山内氏と一豊をめぐる人々」開催(～6.7)
10.8	日曜開館(月曜閉館)を試行開始
11.10	第6回文書館デイズ「御屋形様の文書ー雪舟のパトロン大内氏ー」開催(～11.12)
19.1.19	第2回「山口お宝展」(吉田松陰所用の印章)開催(～2.18)
3.30	「毛利家文庫目録別冊5 諸事小々控総目次III」刊行
3.30	「行政資料目録10 リーフレット・ポスター 1970年代～1980年代」刊行
3.30	「山口県内市町村役場文書保存状況調査報告書」刊行
平成19年度(2007) (館長 熊寄歳介)	
19.4.1	日曜開館(月曜閉館)開始
6.1	第2回中国四国地区アーカイブズウィーク「街道を行く」開催(～6.7)
10.4	徳山毛利家文庫・将軍発給文書を公開(閲覧提供)開始
11.5	国文学研究資料館アーカイブズ・カレッジ〈短期コース〉の会場となる(～11.10)
20.1.18	第3回「山口お宝展」(村上水軍関係文書)開催(～2.17)
3.31	「諸家文書目録8 平生町佐合島佐川家文書 第1分冊」刊行
3.31	「行政文書件名目録1 山口県布達達書I ー明治4～10年ー」刊行
平成20年度(2008) (館長 熊寄歳介)	
20.6.1	第3回中国四国地区アーカイブズウィーク「吉田松陰自賛肖像」開催(～6.8)
10.1	資料小展示「天璋院篤姫と長州ー文書の中の篤姫ー」(～11.16)
21.1.17	大学入試センター試験・日本史Aで当館のことが取り上げられる
3.21	第4回「山口お宝展」(鎌倉時代の塩浜絵図ー長門国正吉郷入江塩浜絵図ー)開催(～

4.19)

3.31 「諸家文書目録9 平生町佐合島佐川家文書 第2分冊」刊行

3.31 「行政文書件名目録2 山口県布達達書Ⅱ -明治11~14年-」刊行

平成21年度 (2009)		(館長 熊寄歳介)
(通年)	開館 50 周年記念として、資料小展示を「シリーズ アーカイブズを守る」という共通テーマで実施	
(通年)	文書館情報発信充実事業	
(通年)	全史料協事務局業務 (副会長 館長熊寄歳介)	
21.6.2	開館 50 周年記念として、第 4 回中国四国地区アーカイブズウィーク「天下人と毛利氏-戦国のアーカイブズ-」を開催 (~6.9)	
21.11.17	当館所蔵「吉田松陰関係資料」754 点が山口県指定有形文化財 (歴史資料) に指定	
22.3.3	大内氏山口開府 650 年「山口お宝展」協賛展示 (「足利将軍の出した文書」~4.4)	
3.31	「山口県文書館所蔵アーカイブズガイド-幕末維新編-」 (開館 50 周年記念出版刊行)	
平成22年度 (2010)		(館長 熊寄歳介)
(通年)	文書館情報発信充実事業	
(通年)	全史料協事務局業務 (副会長 館長熊寄歳介)	
22.6.1	第 5 回中国四国地区アーカイブズウィーク「長州藩幕末維新資料」を開催 (~6.6)	
8.8	行政文書保存管理研修会を開催 (102 機関 114 名参加)	
10.15	国指定重要文化財 (歴史資料)「日明貿易船旗」と「高洲家文書」118 点が当館に寄託される	
2.18	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (13 市町 30 名参加)	
3.31	「行政文書件名目録3 山口県布達達書Ⅲ -明治15~19年-」刊行	
平成23年度 (2011)		(館長 熊寄歳介)
(通年)	文書館情報発信充実事業	
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 23 年度~平成 25 年度)	
23.6.1	第 6 回中国四国地区アーカイブズウィーク「ポスター・写真・映像に見る昭和のやまぐち~昭和 38 年山口国体のころ~」を開催 (~6.5)	
8.19	行政文書保存管理研修会を開催	
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
11.14~ 2.29	館改修工事につき全面休館	
3.31	ウェブページを全面的に更新し、検索データベースの件数を大幅に増やした	
平成24年度 (2012)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 23 年度~平成 25 年度)	
24.6.1	第 7 回中国四国地区アーカイブズウィーク「絵図と古文書で歩く萩往還」を開催 (~6.10)	
9.10	行政文書保存管理研修会を開催	
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
1.31	毛利家文庫遠用物 (近世後期) の整理を終了し、8,933 点の閲覧提供を開始	
平成25年度 (2013)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 23 年度~平成 25 年度)	
25.6.1	第 8 回中国四国地区アーカイブズウィーク「山口県災害記」を開催 (~6.9)	
10.1	1950 年代行政文書の閲覧提供開始	
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (12 市町、県ほか 35 名参加)	
3.15	徳山毛利家文庫絵図の整理を終了し、224 点の閲覧提供を開始	

平成26年度 (2014)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 26 年度～平成 28 年度)	
26.5.31	第 9 回中国四国地区アーカイブズウィーク「美術とアーカイブズ～古文書に見る防長の美術工芸品～」(～6.8)	
6.13	1960 年代文書の閲覧提供開始	
9.2	1970 年代文書の閲覧提供開始	
10.31	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
11.7	行政文書保存管理研修会	
平成27年度 (2015)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 26 年度～平成 28 年度)	
(通年)	全史料協 (全国歴史資料保存利用機関連絡協議会) の調査・研究委員会事務局を引き受け (委員会 : 5/14 山口市、9/10 岡山市、11/11 大仙市) (～平成 28 年度)	
27.6.2	第 10 回中国四国地区アーカイブズウィーク「文書館動物記～書庫に棲む動物たち～」(～6.7)	
10.30	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
1.19	行政文書保存管理研修会	
平成28年度 (2016)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 26 年度～平成 28 年度)	
(通年)	全史料協 (全国歴史資料保存利用機関連絡協議会) の調査・研究委員会事務局を引き受け (委員会 : 5/11 山口市、9/1 山口市、11/9 津市) (平成 27 年度～)。また 8.31 に「平成 28 年度公文書館機能普及セミナーin 山口」を「歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議」と併せて開催	
28.6.1	第 11 回中国四国地区アーカイブズウィーク「いやす なおす たもつ～文書館資料にみる病気・医療・健康～」(～6.5)	
8.31	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (平成 28 年度公文書館機能普及セミナーin 山口)	
1.17	行政文書保存管理研修会	
3.27	徳山毛利家文庫 幕閣発給文書の閲覧提供を開始	
平成29年度 (2017)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 29 年度～平成 31 年度)	
29.4.1	WEB 版明治維新資料室を開始 (県立山口図書館と共同)	
.6.1	第 12 回中国四国地区アーカイブズウィーク「防長と海 ～その記録と記憶～」(～6.11)	
10.30	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (平成 29 年度中国・四国地区文書館等職員連絡会議と合同開催)	
10.30	当館蔵「朝鮮通信使記録」13 点をふくむ「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコ「世界の記憶」に登録される	
11.24	行政文書保存管理研修会	
平成30年度 (2018)		(館長 吹屋哲夫)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 29 年度～平成 31 年度)	
30.6.1	第 13 回中国四国地区アーカイブズウィーク「文書館レキシノオト～「音」で読み解く防長の歴史」(～6.10)	
5.28	行政文書保存管理研修会	
10.31	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
3.22	徳山毛利家文庫「木箱別置文書」の閲覧提供を開始	

令和元年度（平成31年度・2019） （館長 吹屋哲夫）

- （通年） 重要文化財 山口県行政文書修理事業（平成29年度～令和元年度）
- 01.6.1 第14回中国四国地区アーカイブズウィーク・山口県文書館開館60周年記念「情報と記録～つたえる つなぐ 文書館～」を開催（～6.9）
- 7.16 行政文書保存管理研修会
- 10.31 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催
- 3.5～26 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時閉館
-

令和2年度（2020） （館長 吹屋哲夫）

- （通年） 重要文化財山口県行政文書修理事業（平成29年度～令和2年度）
旧市町村役場文書保存状況追跡調査
- 4.14～5.24 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時閉館
- 5～03.2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定したすべての古文書講座を中止（02.9～10、03.1、オンラインでの古文書講座を試験的に実施。計6回）
- 5.30～6.7 新型コロナウイルス感染拡大防止のため第15回中国四国地区アーカイブズウィーク「レッツエクササイズ～武芸・体育・スポーツと文書館資料～」関連行事をすべて中止
- 6.1 Twitter、Facebookを開始
- 10.30 第11回歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催
-

令和3年度（2021） （館長 吹屋哲夫）

- （通年） 重要文化財山口県行政文書修理事業（平成29年度～令和3年度）
山口県公文書管理条例検討会事務局（総務部、学事文書課、社会教育・文化財課、文書館）
全史料協（全国歴史資料保存利用機関連絡協議会）の大会・研修委員会事務局（令和3～4年度）
- 5～10 古文書講座を対面形式・オンライン形式で開催。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面形式は中止回あり。
- 6.1～6.6 第16回中国四国地区アーカイブズウィーク「武芸・体育・スポーツと文書館資料～きたえる たたかう ととのえる たのしむ～」を開催。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインでのみ実施。
- 8.25 公文書の管理に関するワーキンググループ（庁内WG）第1回会議
- 8.26～9.26 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時閉館
- 10.19 第1回山口県公文書管理条例検討会
- 10.21 中国・四国地区文書館等職員連絡会議（オンライン）
- 10.31 歴史講座ライブ配信テスト（第1回）
- 11～04.2 オンラインでの古文書読み合わせ会、3コースを試験的に実施（各4回）
- 12.21 公文書の管理に関するワーキンググループ（庁内WG）第2回会議
- 1.9 歴史講座ライブ配信テスト（第2回）
- 1.11 第2回山口県公文書管理条例検討会
- 2.2 第12回歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催
- 3.24 公文書の管理に関するワーキンググループ（庁内WG）第3回会議
-

令和4年度（2022） （館長 吹屋哲夫）

- （通年） 重要文化財山口県行政文書修理事業（平成29年度～令和4年度）
山口県公文書管理条例検討会事務局（総務部、学事文書課、学校運営・施設整備室、文書館）
全史料協（全国歴史資料保存利用機関連絡協議会）の大会・研修委員会事務局（令和3～4年度）

- 7～2 古文書講座（入門・基礎・錬成・発展）をオンライン形式で開催（各月1回）。
- 5～3 オンラインでの古文書読み合わせ会4コースを実施（原則隔月）
- 8・10・12 オンライン歴史講座を実施（3回）

- 4.11 第3回山口県公文書管理条例検討会
- 5.16 第4回山口県公文書管理条例検討会
- 6.1～6.7 第17回中国四国地区アーカイブズウィーク「集まる・集める～人、モノ、記録・記憶と文書館資料」を開催（オンライン）。
- 7.13 第5回山口県公文書管理条例検討会
- 8.2～8.5 文書館活用講座
- 11.10 中国・四国地区文書館等職員連絡会議（オンライン）
- 12.12 公文書の管理に関するワーキンググループ（庁内WG）第4回会議
- 1.12 第6回山口県公文書管理条例検討会
- 1.27 第13回歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催

2 組織（令和4.4.1現在）

館長（1名）	——	副館長（1名）	——	専門研究員	（5名）
				総務	（兼務、2名）
				会計年度職員	（3名）
				地方調査員	（8名）

3 決算（一般会計、単位:千円）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
13,045	13,603	12,568	7,655	3,253	3,326

4 施設

県立山口図書館・点字図書館等と併設、構造はRC

敷地面積 10,169 m²、延べ床面積 9,819 m²

文書館面積 1,232 m²（利用者ゾーン 209 m²、業務ゾーン 235 m²、書庫<地下2層・新書庫>）

図書館面積 7,855 m²、点字図書館面積 190 m²、レクチャールーム面積 542 m²

書架総延長 本館書庫 6.31km、春日山書庫 3.00km、計 9.31km

II 令和4年度業務報告

1 4年度概観

新型コロナウイルス感染症拡大防止を念頭に、アーカイブズウィークおよび古文書講座の完全オンライン実施、オンラインでの歴史講座の開催、館公式 Facebook、Twitter による継続的かつ積極的な情報発信など、引き続きオンラインサービスの拡充に努めた。

また、3年度に引き続き「山口県公文書管理条例（仮称）」制定に向けての検討が行われ、事務局に文書館も加わった。

加えて、4年度も全史料協（全国歴史資料保存利用機関連絡協議会）の大会・研修委員会事務局を担当した。

今年度の状況を概観すれば以下のとおりである。

アーカイブズウィーク

6月1日～7日に第17回中国四国地区アーカイブズウィーク「集まる・集める～人、モノ、記録・記憶と文書館資料～」を開催した。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対面形式の行事は実施せず、オンラインコンテンツの配信のみとした。→P18

調査活動

地方調査員制度による県内史料所在調査への協力助言等を行った。→P13・18

諸家文書の寄贈・寄託

18家から追加分を含めて4,073点の寄贈・寄託を受けた。→P14

行政文書・資料の引継ぎ

県庁各課等から行政文書1,618点、行政資料1,896点を引き継いだ。→P14

整理・保存対策

寄贈・寄託を受けた新収諸家文書の整理を進め、整理の終わったものについては逐次閲覧に供した。また藩政文書、行政文書、行政資料、図書の整理も進めた。→P15

資料の活用と保存を図るため、行政文書のうち損傷の顕著なものについて修理を行った。→P15

普及啓発事業

アーカイブズウィークのほか、以下の普及啓発活動を行った。

(1) 古文書講座

①「古文書入門講座」「古文書基礎講座」「古文書錬成講座」「古文書発展講座」の4講座を開設し、各講座ともオンライン形式で実施した（7～2月、各8回）。→P19・20

②文書館活用講座

教員対象の「授業で使える文書館活用講座」を8月に4日間実施した。→P20

③古文書読み合わせ会

オンラインでの古文書読み合わせ会を実施した（4講座、5～8回開催）→P20

(2)歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議

公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関して、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として、1月27日に第13回連絡会議を開催した。→P21

(3)行政文書保存管理研修会

学事文書課の情報公開制度及び個人情報保護制度実務研修会が新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止されたため、実施しなかった。→P20

(4)オンライン歴史講座の実施

オンラインでの歴史講座のライブ配信を実施した（8月・10月・12月、計3回）→P21

(5)オンラインサービス

Twitter、Facebookでの情報発信、館ウェブサイトでの資料画像データの拡充などオンラインサービスの拡充に努めた。また、歴史講座のライブ配信を実施した→P19・21

利用者

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今年度の閲覧者は1,219人（昨年度1,072人）、また、資料小展示の観覧者などを加えた入館者は2,686人（昨年度2,449人）に止まったが、前年度に比べ微増となった。

閲覧者は、一般、学生、教員、公務員の順に多い。なお、前年度に比べ県外利用者が大幅に増加した（前年度比61.8%増）。

→P16・17

山口県公文書管理条例制定にむけての検討

全庁統一的な公文書管理ルールの規定、特定歴史公文書の文書館への移管制度の確立などを図ることを目的に、3年度から「山口県公文書管理条例（仮称）」制定に向けての検討が開始された。外部有識者による「山口県公文書管理条例検討会」が設置され、事務局を総務部、学事文書課、社会教育・文化財課（4年度から学校運営・施設整備室）、文書館で構成した。

本年度は、公文書の管理に関するワーキンググループ（庁内ワーキング）1回、山口県公文書管理条例検討会3回が開催された。なお、検討会での資料、議事内容については、山口県庁ウェブサイトの学事文書課のページ「山口県公文書管理条例検討会について」に掲載されている。

令和5年3月14日山口県公文書管理条例（令和5年山口県条例第1号）が公布された（施行は令和6年4月1日）。これに伴い、山口県文書館条例の一部が改正された。

2 収蔵状況

（令和5.3.31現在）

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図書	その他 (特設文庫)	総計
93,512	167,097	84,096	162,446	46,256	23,142	576,549

上記のうち、4年度新たに収蔵した資料の点数は、次のとおりである。

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図書	その他 (特設文庫)	総計
0	4,073	1,618	1,896	526	59	8,172

3 調査

3月29日

ねんりんピック山口関係文書調査

4 収集

(1) 諸家文書

(ア) 寄贈

朝倉家文書	134 点
阿武家文書（美祢市）	285 点
馬屋原家文書	30 点
桑木正道収集史料	1,226 点
重富家文書（山口市）	54 点
宍道家文書（山口市）	37 点
戸島昭収集史料	307 点
長尾家文書	62 点
原田萬吉家文書（追加）	78 点
溝部家文書（埼玉県／追加）	101 点
三好家文書	8 点
和田敏英収集史料（追加）	631 点

（計 2,953 点）

(イ) 寄託

鹿島家文書	723 点
小泉家文書	86 点
能美家文書（追加）	3 点
久幸虎雄文書（追加）	245 点
古畑家文書（追加）	28 点
三戸家文書（北九州市）	35 点

（計 1,120 点）

(2) 行政文書

各課（所）に廃棄予定文書の引継依頼・協議を行い、26ヶ所から計 1,618 点および 530 箱を引き継いだ。引き継いだ文書の主なものは以下のとおり。

経営金融課	760 点 71 箱
長寿社会課	317 点
高校教育課	119 点
農業試験場	238 箱
林業センター	68 箱
国民文化祭やまぐち関係文書	80 箱
山口きらら博関係文書	66 箱

(3) 行政資料

冊子・リーフレット・ポスター類	1,896 点
-----------------	---------

(4) 図書雑誌

526 点

(5) その他（特設文庫）

次の資料を整理し、仮目録に追加登録した。

・一般郷土史料	59 点
---------	------

5 整理

(1) 藩政文書

(ア) 徳山毛利家文庫

未整理の徳山毛利家文庫の整理をすすめた。

(2) 諸家文書

次の文書を整理し、仮目録を作成した。

朝倉家文書	134 点	徳山藩士（絵師）
阿武家文書(美祢市)	285 点	町年寄／県会議員
馬屋原家文書	30 点	萩藩士（大組）
鹿島家文書	723 点	萩町人／商家
桑木正道収集史料	1226 点	コレクション（絵葉書）
小泉家文書	86 点	医者
重富家文書(山口市)	54 点	吏員
宍道家文書(山口市)	37 点	萩藩士（寄組）
戸島昭収集史料	307 点	コレクション（海図・地図）
長尾家文書	62 点	陰陽師
能美家文書(追加)	3 点	萩藩士（大組）
原田萬吉家文書(追加)	78 点	生命保険会社代理店
久幸虎雄文書(追加)	245 点	県職員
古畑家文書(追加)	28 点	コレクション（戸長役場／寺院）
溝部家文書(埼玉県／追加)	101 点	軍人／教員
三戸家文書(北九州市)	35 点	萩藩陪臣（佐世家臣）
三好家文書	8 点	武家（生駒家）
和田敏英収集史料（追加）	631 点	コレクション

（計 4,073 点）

(3) 行政文書

令和 4 年度収集文書のうち、1,618 点について整理し、仮目録を作成した。

(4) 行政資料

令和 4 年度収集資料 1,896 点について整理し、仮目録を作成した。

(5) 図書雑誌

令和 4 年度受入図書 526 点について、追加登録した。

(6) その他（特設文庫等）

令和 4 年度収集資料 59 点について整理し、追加登録した。

6 保存対策

(1) 修理（行政文書）

重要文化財山口県行政文書のうち損傷の著しい 2 冊（県庁戦前 A 士族 139「士族願伺」および県布達類 293「山口県報」）を修理工房宰匠株式会社（福岡県筑紫野市）に業務委託し修理した（国庫補助事業 県 50%）。

(2) 資料燻蒸

県立山口博物館燻蒸庫での燻蒸（2 回）および山口図書館での燻蒸に併せ、計 3 回実施した。

7 利用

(1) 文書館利用状況

開館日数 276 日（前年度 248 日）

入館者 2,686 人（前年度 2,449 人）

閲覧者 1,219 人（前年度 1,072 人）であった。

このうち、閲覧者の内訳と閲覧文書点数の状況は、以下（4）及び（5）のとおり。

(2) ホームページ利用者数

令和 4 年度のホームページアクセス数は 534,606 件（前年度 712,901 件）、うち明治維新資料室アクセス数は 237,812 件であった。なお、前年度と比較してアクセス数が大幅に減少しているが、これはカウント方法の変更によるものである。

(3) 調査室（閲覧室）利用者数

区分	入館者	閲覧者	特別使用区分	複写	絵図室	特別室	合計
R 04年度 (R03年度)	2,686 (2,449)	1,219 (1,072)	R 04年度 (R03年度)	836 (773)	125 (43)	43 (38)	1,004 (854)

(4) 閲覧者数の状況

職業		令和 4 年度				令和 3 年度	
		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)	比率 (%)	合計 (人)	比率 (%)
教員	大学	49	119	168	16.5	131	14.0
	小・中・高校	21	4	25		18	
	その他	1	7	8		1	
学生	大学院	4	80	84	22.5	70	28.3
	大学・その他	157	33	190		233	
公務員	国	6	4	10	10.8	16	14.0
	都道府県	21	16	37		46	
	市町村	63	22	85		87	
博物館・研究機関		9	28	37	3.0	23	2.1
報道・出版		11	16	27	2.2	28	2.6
その他一般		432	116	548	45	419	39.0
合計		774	445	1,219	100.0	1,072	100.0
前年度比 (%)		97.1	161.8	113.7	—	107.0	—
S44 年以来の累計		—	—	103,823	—	102,604	—

(5) 閲覧文書点数の状況

区分	令和4年度		令和3年度	
	点数(点)	比率(%)	点数(点)	比率(%)
毛利家文庫	4,322	40.2	5,164	48.5
徳山毛利家文庫	869	8.1	187	1.8
県庁伝来旧藩記録	293	2.7	341	3.2
山口小郡宰判記録	21	0.2	10	0.1
三卿伝史料	41	0.4	11	0.1
両公伝史料	423	3.9	397	3.7
行政文書	1,253	11.7	837	7.9
郡役所文書	155	1.4	94	0.9
行政資料	222	2.1	241	2.3
諸家文書	2,295	21.3	2,852	26.8
県史編纂所史料	102	0.9	45	0.4
一般郷土史料	222	2.1	64	0.6
その他特設文庫	85	0.8	25	0.2
複写資料	420	3.9	333	3.1
図書	28	0.3	48	0.5
その他	1	0.0	0	0.0
合計	10,752	100.0	10,649	100.0
S44年以來の累計	1,059,974	—	1,049,222	—

(6) 特別利用の状況

区分	特別閲覧	複写	出版物等 掲載	模造品 製作	貸出	レファレンス 件数
R04年度	25	836	284	0	7	724
(R03年度)	(33)	(773)	(283)	(1)	(10)	(603)

(7) 貸出

貸出機関	企画展名(貸出文書名・点数)
久米美術館	企画展「プロイセン気質の日本人—明治の外交官・青木周蔵の横顔展」 (日野家文書等4点)
山口市歴史民俗資料館	企画展「獅子頭—つながる人と郷土—」 (興隆寺文書等3点)
下関市立歴史博物館	特別展「戊辰戦争—長府藩報国隊の軌跡—」 (元森家文書3点)
安城市歴史博物館	特別展「養生から健康へ」 (佐藤家文書等14点)
山口市歴史民俗資料館	特別企画展示「探究! 築山跡—大内氏のもうひとつの居館—」 (安部家文書等2点)
萩市立須佐歴史民俗資料館	テーマ展「夏の彩り～近世と益田家の花火～」 (増野家文書等3点)
対馬市立対馬博物館	特別展「対馬の外交II 朝鮮通信使」 (県庁伝来旧藩記録13点)

8 刊行物

令和4年度の刊行物

- ① 『山口県文書館研究紀要』第50号（R05.3.30発行） A5判140頁
- ② 『文書館ニュース』第57号（R05.3.30発行） A4判8頁

9 地方調査員

(1) 地方調査員会議

第1回 令和4年7月7日 県立山口図書館第2研修室およびオンライン

- ・調査員報告および意見交換
- ・報告 山口県文書館のSNSを中心とした普及・広報活動について 館員 重田香澄

第2回 令和5年3月9日 県立山口図書館第1研修室およびオンライン

- ・調査員報告および意見交換
- ・報告 令和4年度公開の諸家文書について 副館長 山崎一郎

(2) 地方調査員の文書調査報告実績

地方調査員から延べ19日、137時間の活動実績報告があった。

(3) 地方調査員名簿（任期 令和3.4.1～令和5.3.31）

担当地域	氏名	担当地域	氏名
大島（R4.4.1～）	光田伸幸	厚狭	若山さやか
玖珂	惠本洋嗣	豊浦	安富静夫
玖珂	正中克磨	大津	永井武司
都濃	佐伯 隆	阿武	樋口尚樹

10 広報・普及

(1) 広報活動

- ・『文書館ニュース』第57号（A4判8頁）を発行した。
- ・FacebookとTwitterによる館情報の発信を行った（投稿数76回）。

(2) 第17回中国四国地区アーカイブズウィーク

6月1日（水）～7日（火）に第17回中国四国地区アーカイブズウィーク「集まる・集める～人、モノ、記録・記憶と文書館資料」を開催した（オンラインコンテンツの配信のみ）。

<アーカイブズ展示オンライン>6月1日～7日

下記テーマで館蔵資料紹介の解説シート（PDF）をWebサイトにアップ。

- ①、③、⑤～⑩、⑫～⑮はオンライントークをYouTubeで配信（6/1～7 再生数482）

<人>

- ①大内氏の評定（和田）②「普請」で集まる人と物～寛保の利根川普請と萩藩～（吉田）
③明治期、毛利家に集まる人々（吉田）④「ヒト」が集まる～議会・結社など（浅川）
⑤集合写真（記念写真）を撮る（浅川）⑥大群衆～昭和38年山口国体（山本）

<モノ>

- ⑦年貢米を集める（河本）⑧椿を集める（河本）
⑨書籍を集める～江戸時代の宮司家の場合～（重田）⑩新聞社、集める（重田）
⑪「集める競う」～百花繚乱！博覧会（浅川）

<記録・記憶>

- ⑫大内氏掟書（和田）⑬徳山藩断絶前の記録収集（吉田）
⑭藩の法令を集める（山崎）⑮家臣の所蔵文書を集める（山崎）
⑯戦の記憶を集める～萩藩前期の戦国軍記編さん～（山崎）
⑰記録を集める～近代山口県の土木事業～（浅川）⑱集めて考えよう（山本）

<SNS 文書館利用案内>6月1日～7日 (Facebook・Twitter)

SNS を使って文書館案内、文書館の利用方法などを紹介

<歴史探究講座 YouTube Live>6月4日 (YouTube 配信／再生数 275)

「戦国」の記憶を集める

- ・「萩藩前期の戦国軍記編さん」 (講師：山崎)
- ・「桂炭円覚書に描かれた大内氏～史実と記憶～」 (講師：和田)

(3) 資料小展示

閲覧室の入口に設置している展示ケースを使用して、以下の小展示を行った。

回	期間	展示題目	担当
1	4月	主(あるじ)の呼び方 ～殿様・若殿様・大殿様～	吉田
2	5月	幕末～明治期の稲作記録	河本
3	6月	「集まる・集める」をさがしてみた!	浅川
4	7月	お殿様の七夕	重田
5	8月	問田氏の発給文書	和田
6	9月	明治期のレトロ野球盤	山本
7	10月	萩藩一門、養子をむかえる	吉田
8	11月	毛利敬親の伝記・履歴書～明治前期の編さん～	山崎
9	12月	当家の苗字 間違いです ―萩藩士の事例から―	河本
10	1・2月	明治がみえた!	浅川
11	3月	近代山口のひな祭り	重田

(4) 古文書入門講座 (オンライン Zoom)

初めてくずし字・古文書に触れる方を対象に 7～2月の第2土曜日、オンライン形式で開催した。受講者 22名。実施内容は次のとおり。

日 程	主 題	講 師
7～2月	古文書に親しむ	山 本

(5) 古文書基礎講座 (オンライン Zoom)

古文書の基礎的な知識を習得したい方を対象に 7～2月の第4土曜日、オンライン形式で開催した。受講者は 30名。実施内容は次のとおり。

日 程	主 題	講 師
7～2月	和名抄現在名引合詮議物 (毛利家文庫 30 地誌 55)	重 田

(6) 古文書錬成講座 (オンライン Zoom)

古文書を独力で読むことをめざす方を対象に 7～2月の第2土曜日、オンライン形式で開催した。受講者は 16名。実施内容は次のとおり。

日 程	主 題	講 師
7～2月	徳山毛利家文庫 諸役 27「貞享丙寅御用密記 全」を読む	吉 田

(7) 古文書発展講座（オンライン Zoom）

古文書を読む応用力、対応力を付けたい方を対象に7～2月の第4土曜日、オンライン形式で開催した。受講者は14名。実施内容は次のとおり。

日 程	主 題	講 師
7～2月	地方文書を読む –佐川家（平生町佐合島）文書–	河 本

(8) オンラインでの古文書読み合わせ会（オンライン Zoom）

参加者が主体となる古文書読み合わせ会を5月～3月、オンラインで実施した（原則隔月）。実施内容は次のとおり。

回数	主 題	講 師
8回	毛利家文庫 24 末家 70（14 の 5）「徳山事記 四」を読む	吉 田
8回	武家文書を読む	河 本
6回	「東京日帳（明治4年）」を読む –毛利元徳、東京での日々–	山 崎
5回	「大野毛利譜録」を読む –萩藩一門の由緒を示す記録–	和 田

(9) 授業で使える 文書館活用講座

県内の小・中・高校・特別支援学校の教員を対象に、学校教育に文書館資料を活用する契機を提供することを目的に、8月2～5日の4日間実施した。より参加しやすいものとするため、今年度から各コマを自由に選択できるようにした。受講者は計12名（全講座延べ38名。内容は以下のとおり）。

8/2	①文書館ってどんなところ（山崎）	②授業で使える！文書館ウェブサイト（重田）
8/3	③文書館資料で素朴な疑問を考えよう（吉田）	④授業で使える文書館資料を探してみよう（全職員）
8/4	⑤絵図を片手にまちを歩こう（重田・和田）	⑥「絵図を片手にまちを歩こう」ができるまで（重田）
8/5	⑦アーカイブズガイドを深掘りしよう（山本）	⑧文書館資料を使ったデジタル教材について考えよう（山本）

(10) 第13回歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議

公文書館法（昭和62年法律第115号）および公文書管理法第34条（平成21年法律第66号）の趣旨に基づき、県及び県内の市町が保管する公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関して、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として実施している。

今年度は1月27日に開催した。前半の部では、高知県立公文書館の三宮久美氏に「公文書管理条例下における公文書管理と公文書館～高知県立公文書館を事例として～」と題して講演をいただいた。後半の部では、「歴史的公文書の評価・選別」と題して参加者による演習形式での評価・選別作業を行い、三宮氏から解説をいただいた。市町・県等から22名の参加があった。

(11) オンライン歴史講座ライブ配信

オンラインでの歴史講座のライブ配信を実施した（YouTube）。

8/20	防長素人義太夫懸賞投票～明治33年防長新聞企画と地域～	重田
10/1	戦国時代の江良氏について～毛利氏との関係を中心に～	和田
12/3	幕末期の下関戦争を描いた10枚の絵図 ～元治元年(1864)8月、誰が戦争を見ていたか～	山崎

視聴回数は、8/20：119回、10/1：156回、12/3：125回

(12) ウェブサイト

①令和3年度公開諸家文書9家・2,495点のデータをDBに追加した

②DBならびに「資料画像 New!」への画像データのアップ

「資料画像 New!」(計17回)およびDBに絵はがき・古写真などの画像データ359件をアップした。

11 研究活動

(1) 研究実績（『山口県文書館研究紀要』第50号は『紀要』第50号と略記）

- ・山崎一郎
「幕末期の下関戦争を描いた一〇枚の絵図」 （『紀要』第50号）
書評と紹介 福田千鶴・藤實久美子編著『近世日記の世界』 （『記録と史料』第33号）
- ・和田秀作
「陶氏の奉書署判者について」 （『紀要』第50号）
「大内氏の文書管理と殿中文庫」 （『大内氏がわかる本』文化交流編）
- ・浅川 均
「山口県文書館所蔵写真史料リスト《明治編》」 （『紀要』第50号）
- ・山本明史
「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー学校教育編(10)ー月間資料小展示等の教材化ー」
（『紀要』第50号）
- ・吉田真夫
「徳山藩城主格一件」 （『紀要』第50号）
- ・河本福美
「萩藩家臣団の仮名・実名、名字をめぐって」 （『紀要』第50号）
- ・重田香澄
「文政期における多賀社文庫の拡充と管理ー『山口多賀大神宮御文庫目録』系目録の検討か
らー」 （『紀要』第50号）

(2) 講演・研究会等

- ・山崎一郎
第17回中国四国地区アーカイブズウィーク歴史探究講座「萩藩前期の戦国軍記編さん」
(6/4 オンライン配信)
令和4年度山口県高教研学校図書館部会研修「文書館ってどんなところ」(9/30 山口図書館)
文書館オンライン歴史講座「幕末期の下関戦争を描いた10枚の絵図～元治元年8月、誰が戦争
を見ていたか～」(10/1 オンライン配信)
令和4年度公立図書館職員等専門講習会第3回「レファレンスに役立つ郷土資料～山口県文
書館収蔵資料の紹介を中心に～」(1/19 山口図書館)
第2回地方調査員会議報告「令和4年度公開の諸家文書について」(3/9 文書館)
- ・和田秀作
第17回中国四国地区アーカイブズウィーク歴史探究講座「桂炭円覚書に描かれた大内氏～史実
と記憶～」(6/4 オンライン配信)
大内氏歴史文化研究会シンポジウム（「築山跡と大内教弘」）「『築山殿』大内教弘の治世」
(11/27)
文書館オンライン歴史講座「戦国時代の江良氏について～毛利氏との関係を中心に～」
(10/1 オンライン配信)
- ・重田香澄
第1回地方調査員会議報告「山口県文書館のSNSを中心とした普及・広報活動について」
(7/7 文書館)
文書館オンライン歴史講座「防長素人義太夫懸賞投票～明治33年防長新聞企画と地域～」
(8/20 オンライン配信)

Ⅲ 令和5年度の計画

1 業務

(1) 保存対策

重要文化財山口県行政文書の修復

(2) 刊行物

『山口県文書館年報（令和4年度）』（デジタル刊行）

『山口県文書館研究紀要』第51号の刊行

『文書館ニュース』第58号の発行

(3) 普及活動

①アーカイブズウィーク

会期 令和5年6月1日～7日

対象 一般

②古文書講座

古文書入門講座（定員：対面15名・オンライン30名）

会期 令和5年7月～6年2月の第2土曜日の午前 計8回

形式 オンライン（Zoom）

対象 一般

古文書基礎講座（定員：対面15名・オンライン30名）

会期 令和5年7月～6年2月の第4土曜日の午前 計8回

形式 オンライン（Zoom）

対象 一般

古文書錬成講座（定員：対面15名・オンライン30名）

会期 令和5年7月～6年2月の第2土曜日の午後 計8回

形式 オンライン（Zoom）

対象 一般

古文書発展講座（定員：対面15名・オンライン30名）

会期 令和5年7月～6年2月の第4土曜日の午後 計8回

形式 オンライン（Zoom）

対象 一般

古文書読み合わせ会

会期 令和5年5月～6年3月の隔月第1・第3土曜日（3講座各6回程度）

形式 オンライン（Zoom）

対象 一般

③授業で使える 文書館活用講座（定員：8名）

会期 令和5年8月1～4日

会場 文書館・県立山口図書館研修室等

対象 県内の小・中・高・特別支援学校の教員

④歴史講座

開催 9・11・1・3月

形式 オンライン（YouTube）

対象 一般

⑤行政文書保存管理研修会（対象：行政機関の担当者）

⑥歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議（対象：行政機関等の担当者）

(4) 山口県公文書管理委員会事務局

2 職員（令和5.4.1～）

所属	氏名	主な担当業務
館長（非常勤）	吹屋哲夫	館務統轄
副館長	山崎一郎	業務総合調整・館内管理・予算決算
専門研究員	山本明史	行政文書に関すること
〃	吉田真夫	藩政文書・諸家文書に関すること
〃	重田香澄	閲覧・広報・普及活動に関すること
〃	河本福美	行政資料・県史編さん室文書に関すること
〃	浅川 均	県史編さん室文書に関すること
（兼）総務管理GL	宇佐波菜採	総務会計等
（兼）主査	山田晃広	〃
会計年度任用職員	真木奈美	行政文書に関すること
〃	河村 香	県史編さん室文書に関すること
〃	森田恭代	閲覧提供業務の補助、文書整理の補助
〃	藤村真理子	〃

3 地方調査員（任期 令和5.4.1～令和7.3.31）

担当地域	氏名	担当地域	氏名
大島	光田伸幸	美祢	藏本隆博
玖珂	松岡智訓	豊浦	岡松 仁
都濃	佐伯 隆	大津	永井武司
厚狭	若山さやか	阿武	樋口尚樹

4 当初予算（単位：千円）

事業費	予算額（千円）	事業概要
文書館運営費	9,401	運営関係費・HP改修
文書館運営費（文化財関係事業分）	2,278	古文書講座・文書の修復等
文書保存整理刊行費	53	文書の整理等
合 計	11,732	